

## 令和7年度第2回 岐阜市立女子短期大学運営委員会報告書

1 日 時 令和7年10月21日（火）10時30分～12時00分

2 場 所 岐阜市立女子短期大学 大会議室

3 出席者 （1）外部委員（1号委員）出席3名  
片岡委員、後藤委員、近藤委員  
（2）学内委員（2号委員）出席4名  
大田学長、福村副学長、小野附属図書館長、伊藤事務局長

4 次 第 （1）岐女短ビジョンの改定について

5 委員の意見

### ○意見1

短大の時点で共学化するか、短大は女子大のまま運営するかの方性は早めに決めた方がよい。短大の時点で共学化することのメリットとしては、四年制化前から男子の意向を取り入れられることがある。

### ○意見2

高等学校の立場から見て、短期大学を受験する男子高校生は多くはない。また、女子がリーダーシップを発揮する機会や、女子が女子のみの環境で学修する場を与えるという女子短大の役割はまだ終わっていないと考える。

### ○意見3

子供たちから見て魅力的かどうか立ち返って考えてみるとよい。定員割れしているということは、学びたいものがない可能性がある。詳しく説明することで、魅力が伝わるのであれば、広報不足が原因であると考えられる。

### ○意見4

新大学は市費を投入して開学するため、優先枠を設けるなどして、岐阜市の高校生が入学できないということがないようにしてもらいたい。

### ○意見5

大学として社会の要請に応えるだけでなく、もう一段階上のリードするような存在となってもらいたい。